

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
HOUSE 4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	SAM/PIn0/HERO			実務経験	有	職種	プロダンサー				
担当教員紹介											
【SAM】 単身NYへ渡りバレエ、jazzダンスなどの基礎を修得する。ストリートダンスからアカデミックなダンスまであらゆるダンスをバックボーンに持つ。TRFコンサートの振り付け、構成、演出はもちろんSMAP、V6、浜崎あゆみ、BoA、東方神起、郷ひろみ、山田優、その他多数のアーティストの振り付け、コンサートプロデュースを行いダンスクリエイターとして幅広い活躍をしている。 【PIn0】 ストリートダンスの世界大会「JUSTE DEBOUT」にて日本予選を優勝で勝ち上がり、そのままパリで行われた本選でも優勝。世界タイトルを獲得。常にオリジナルであり続ける枠にとらわれないフリースタイルでの表現は、現在もダンサーのみならず様々なジャンルのアーティスト達から絶大な支持を得ている。 【HERO】 2013年パリで行われた「CERCLE UNDERGROUND」優勝。2017年チェコ「STREET DANCE KEMP」crew battle優勝。 現在は、「至芸」のメンバーとして、国内外でのSHOWや バトル、ヨーロッパなどで数多くWORKSHOPをし忙しい日々を過ごす。そして学校教育では、東京や川崎市立小中学校の表現体育等の授業でダンスを指導、高校などでもダンス顧問とし指導を行っている。											
授業概要											
この科目ではストレッチやアイソレーション等、ストリートダンスに必要な基本的な体の動きを学びます。またハウスのステップを確実に修得したうえで、作品作りではコンビネーションや様々なテクニックを学びます。											
到達目標											
HOUSEの基礎的な体の動きを土台とした応用的な表現方法をコンビネーションやルーティーンを通して理解する。音楽の中でグループを掴み表現する。											
授業方法											
ストレッチ、体幹トレーニングによる基礎体力作り、アイソレーションを通して体の動き理解する。 毎レッスンテーマにそった課題振付を反復練習する事でステップやコンビネーションを修得する。											
成績評価方法											
成果発表 平常点	50% 50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	SAM先生応用④/難易度の高いステップを組み合わせ時間内にグループで発表を行う										
第2回	SAM先生応用⑤/時間内に基礎・応用を組み合わせたステップと振付を覚え、模擬オーディションを行う										
第3回	SAM先生応用⑥/既定の振付に自分が得意なステップを組み合わせグループで発表を行う										
第4回	PIn0先生応用④/ステップから基礎的なアクロバットへのスムーズな流れが実践できるようになる										
第5回	PIn0先生応用⑤/ステップから難易度が高いアクロバットへの流れを実践し、グループで発表を行う										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
HOUSE 4	
第6回	PIn0先生応用⑥/既定のステップと自由にアクロバットを各グループで構成し、グループで発表を行う
第7回	HERO先生応用④/既定のステップを複数の楽曲で踊り分け、音楽とリズムへの意識を高める
第8回	HERO先生応用⑤/グループに分かれ既定の振付を基にアレンジをし、発表をする
第9回	HERO先生応用⑥/変則的なリズムとステップも正確に表現ができるように実践する
第10回	卒業公演 振付①/振付師の考える楽曲・振付テーマ・表現したい内容を理解し、振付に取り組めるように準備する
第11回	卒業公演 振付②/ユニゾンパートの振付を練習する
第12回	卒業公演 振付③/ユニゾンパートの振付の精度をレベルチェックし、立ち位置を決める
第13回	卒業公演 振付④/オーディションを行いソロパート、少人数パートの出演者を決める
第14回	卒業公演 振付⑤/ソロ、少人数パートの振り入れを進め、ユニゾンパートに繋げる
第15回	レベルチェック/振付①～⑤までの精度を確認し、パート構成に臨む準備をする